



令和2年度に関する ダイバーシティアンケート 結果概要

令和3年11月18日

一般社団法人 日本遊技関連事業協会

人材育成委員会、広報調査委員会



【実施概要】

1.調査目的

遊技業界全体の活性化と、女性活躍のみならずだれもが働きやすい環境整備を推進するため、業界の現状把握と参考になる取組みの発信を行う

2.調査対象

日本遊技関連事業協会会員企業

※日遊協サイトからダウンロードいただけます。

<http://www.nichiyukyo.or.jp/diversity/>

3.調査時期

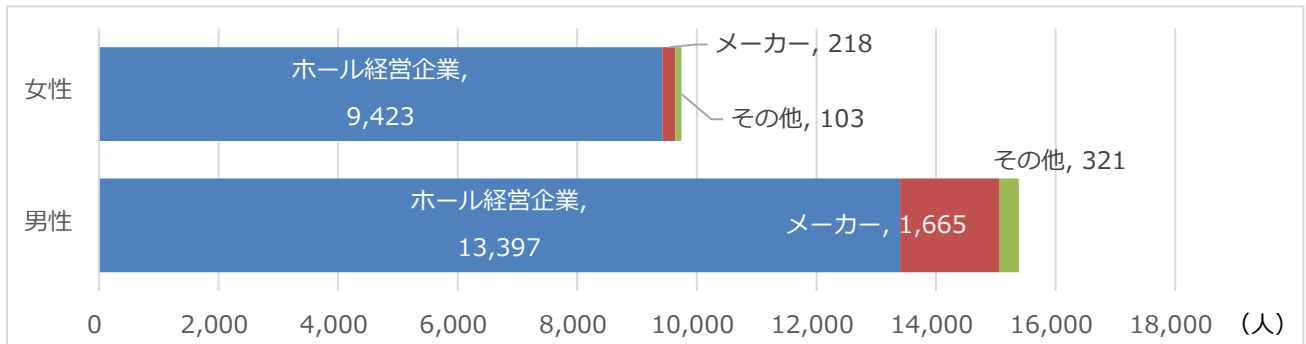
令和3年9月

4.回答状況

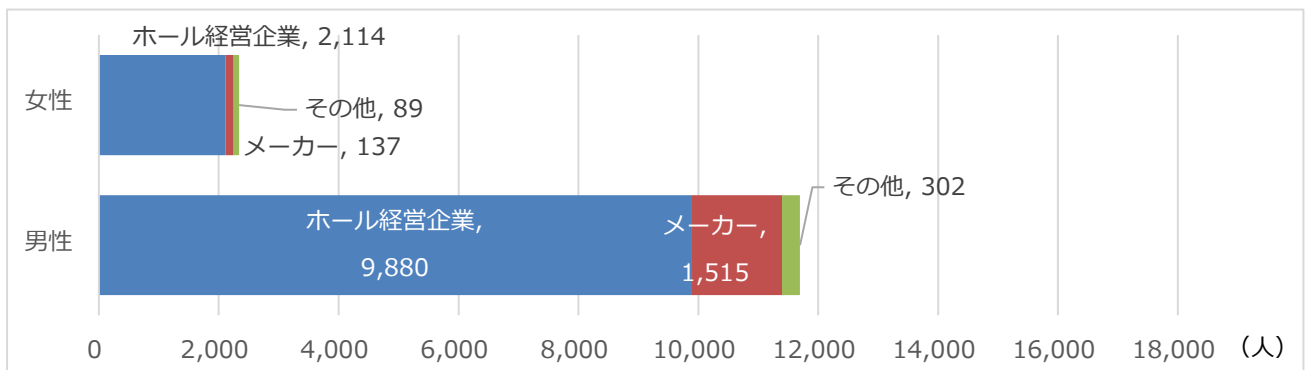
回答数 32社 うちホール経営企業 20社、メーカー 7社、その他 5社

回答企業の令和2年度従業員の状況

・従業員数 合計：25,127人 (うち男性：15,383人、女性：9,744人)



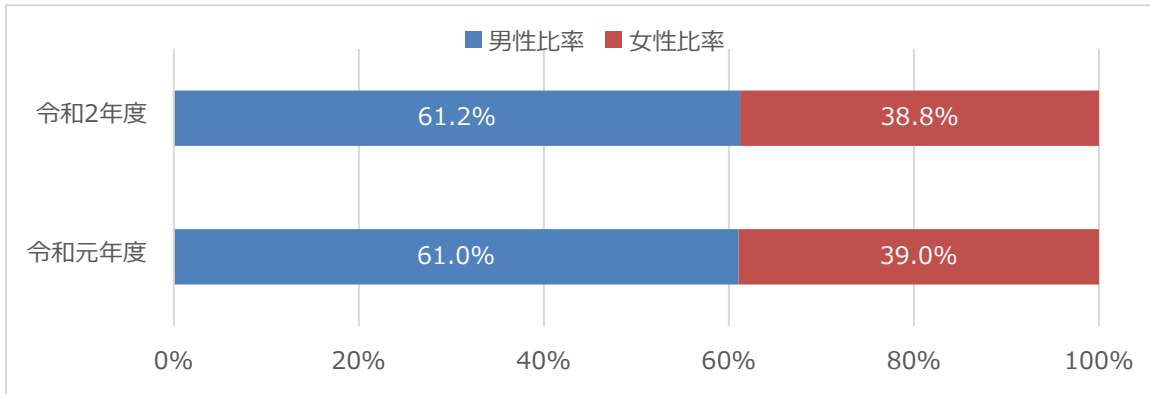
・正社員数 合計：14,037人 (うち男性：11,697人、女性：2,340人)





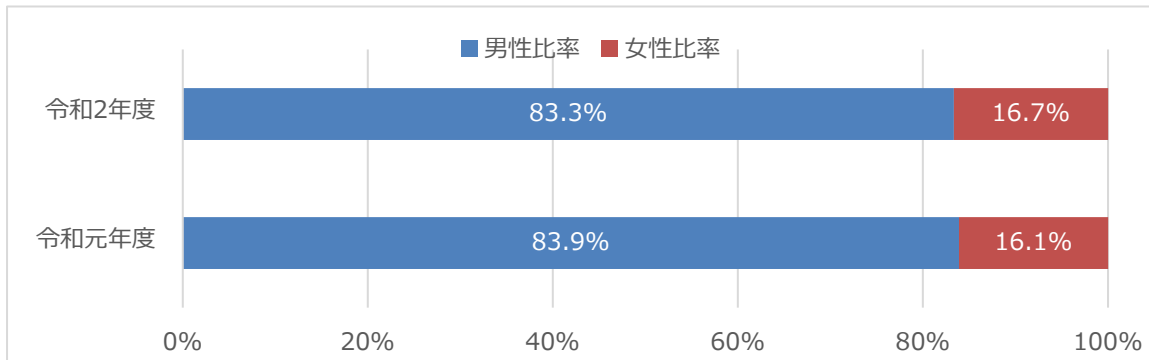
【調査結果】

1. 従業員構成比推移



	令和元年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比
男性	17,125 人	61.0%	15,383 人	61.2%
女性	10,929 人	39.0%	9,744 人	38.8%
合計	28,054 人	—	25,127 人	—

2. 正社員構成比推移

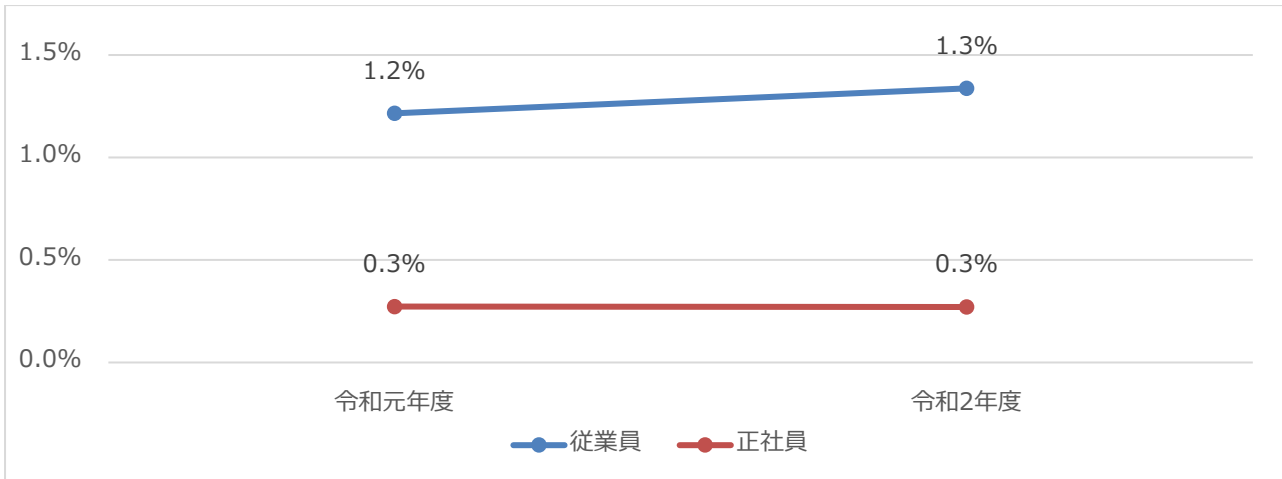


	令和元年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比
男性	12,291 人	83.9%	11,697 人	83.5%
女性	2,362 人	16.1%	2,340 人	16.7%
合計	14,653 人	—	14,037 人	—

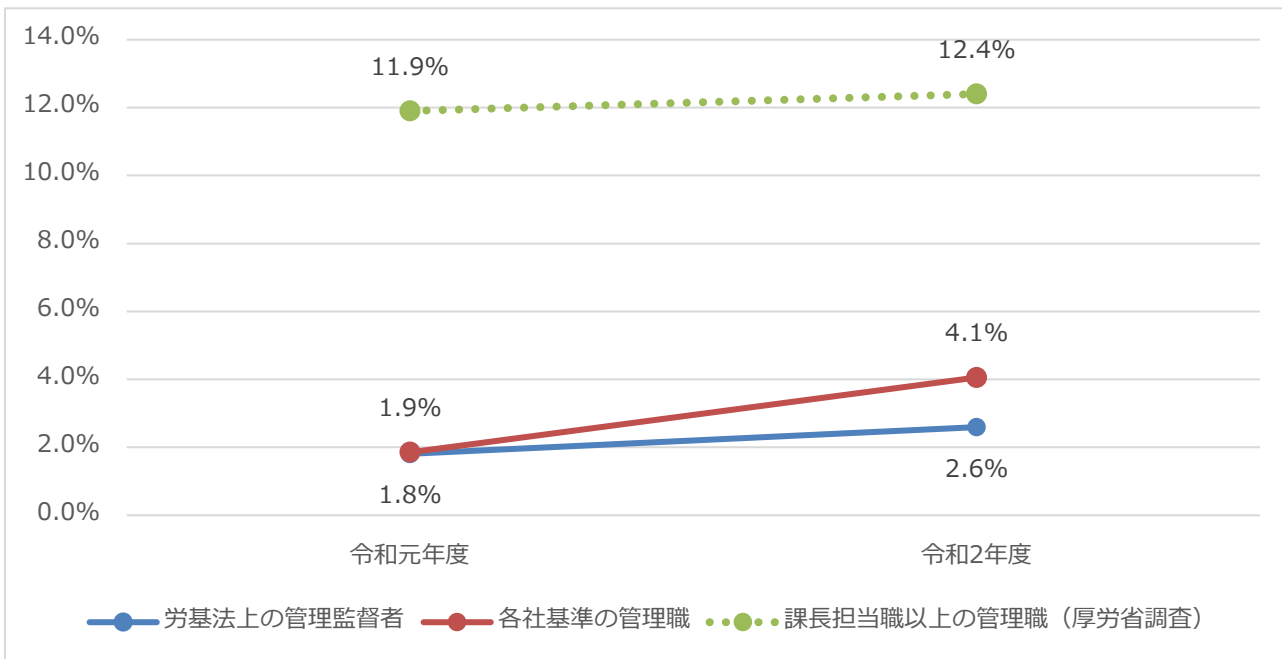
※ % = 合計数に対する比率



3. 障がい者雇用率



4. 女性管理職割合の推移 ※年度末時点 ※参考数値：厚生労働省調査、課長相当職以上の管理職



※各社基準の管理職とは…「労働基準法上の管理監督者」ではなく「各社基準の管理職（副店長に準ずる方以上、課長に準ずる方以上など）」を指します

※厚生労働省調査：「令和2年度雇用均等基本調査」の結果概要 より

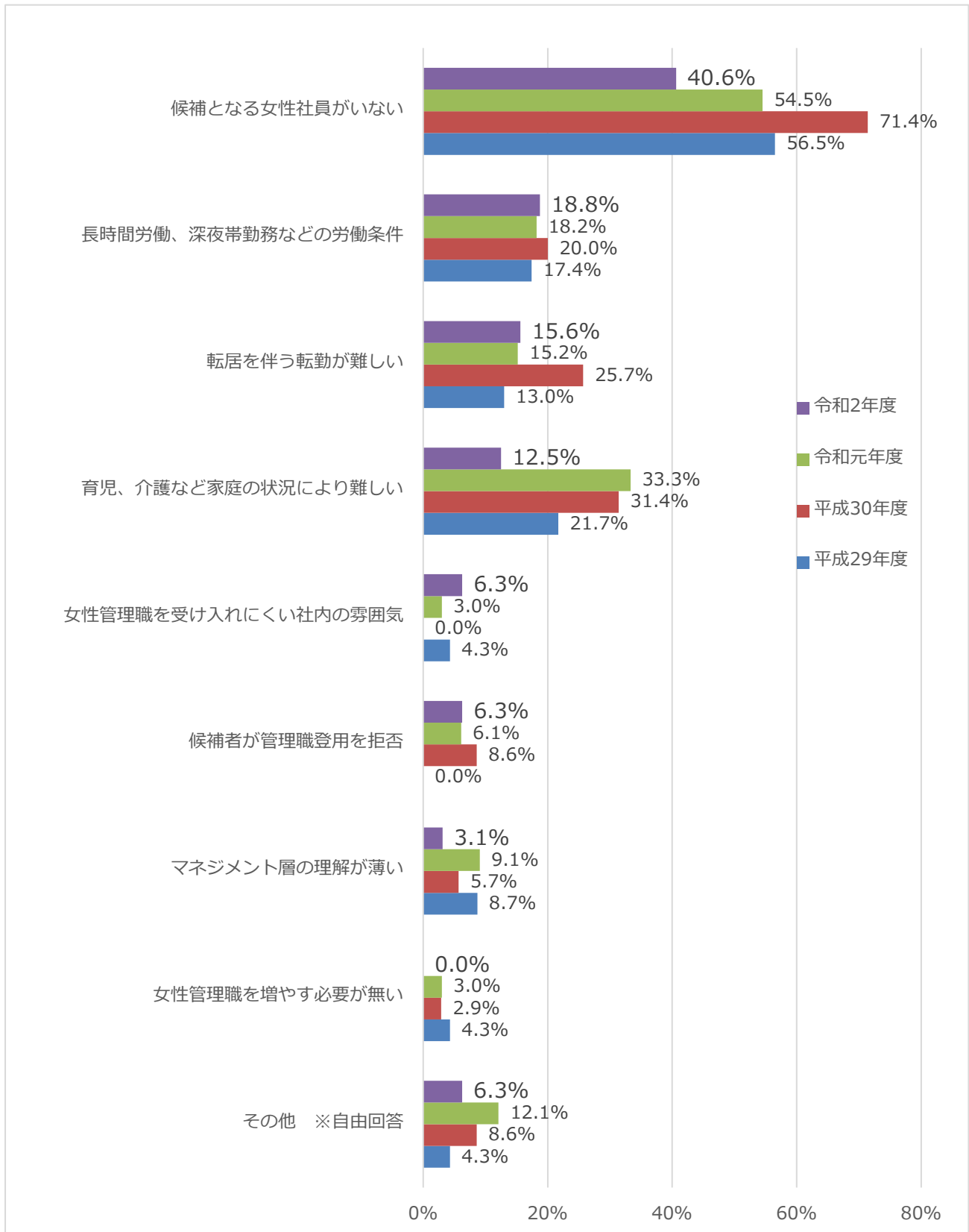
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r02/02.pdf>



5. 女性管理職がない理由

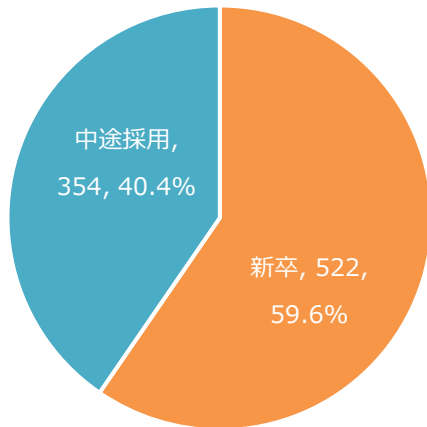
※複数回答

※平成29年度、30年度、令和元年度の値は、過去の調査結果を参考値として使用

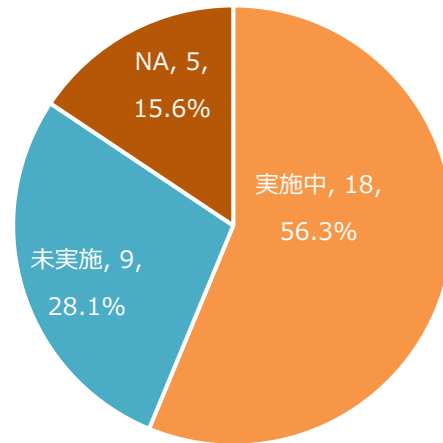




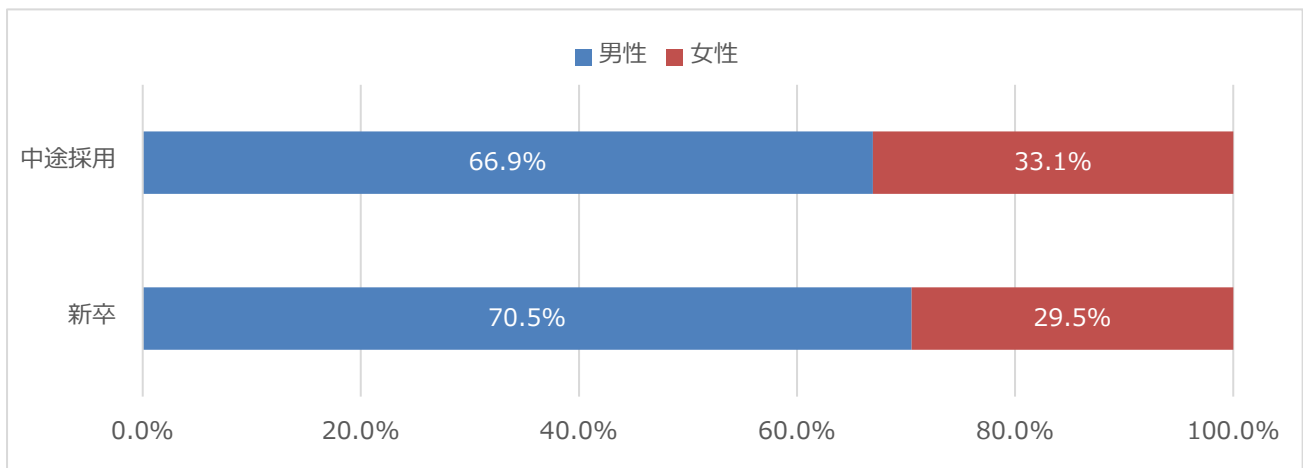
6. 令和2年度採用の実績



7. 現在の新卒採用活動状況



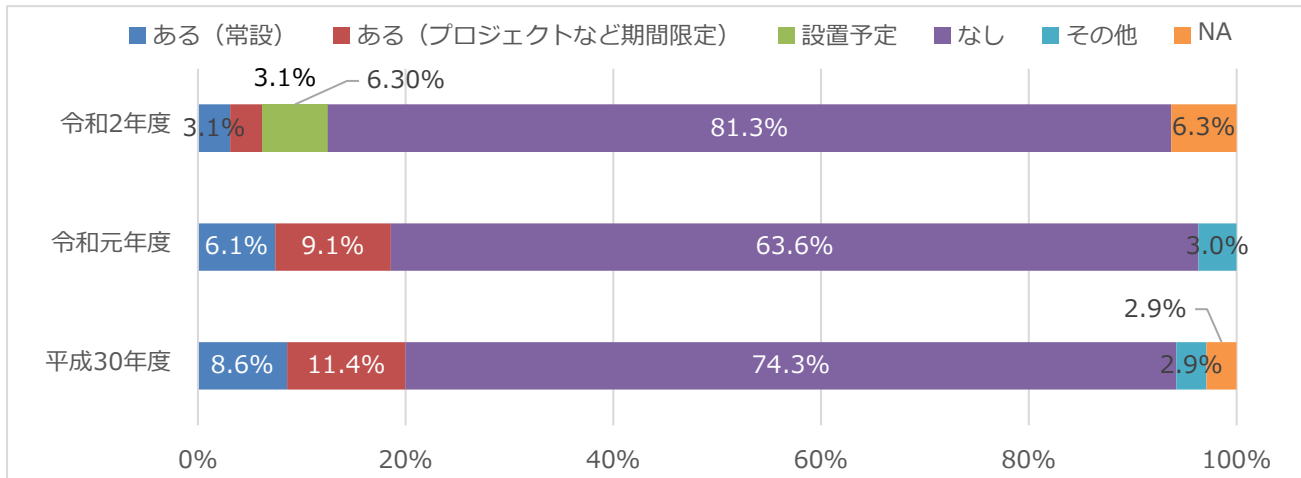
8. 採用実績の男女比率





9. 女性の能力活用・登用サポートを目的とした専任部署等

※平成30年度、令和元年度の値は、過去の調査結果を参考値として使用



10. 専任部署、プロジェクトの設立年と内容

設立年	担当部署
2015	ダイバーシティ推進プロジェクト(オータ)
2019	女性活躍推進室(ホール経営企業)

11. 女性社員採用に対する取り組み

- ・女性が働きやすい環境づくりのため、地域限定（異動なし）、早番固定の社員の登用を実施(ホール経営企業)
- ・女性限定の会社説明会実施(プローバ)
- ・自社取り組み（女性活躍推進）に招待(プローバ)
- ・女性リクルーターの活用（プローバ）
- ・女性専用社員寮完備(ホール経営企業)
- ・出産・育児からの復職率アピール(ホール経営企業)
- ・出勤数・勤務時間等が少ない条件付き社員制度の導入(ホール経営企業)
- ・身だしなみ規定を緩和(ホール経営企業)
- ・女性活躍委員会の活動の主だったものとして、産休・育休（育休は男性も取得推奨）の理解、生理休暇の理解、男性育休の取得(メッセ)
- ・会社説明会は女性若手社員が積極的に参加。女性の面接には女性社員が同席（日拓ホーム）
- ・女性ロッカールームにパウダースペースを3席設置（男性ロッカールームにはなし）。「男性社員にはない、女性社員ならではの準備室」として作られたが、女性社員にとってのマストスペース（メーカー）
- ・愛知県「あいち女性輝きカンパニー」認証。確実に5年前に比較し非正規雇用から正規雇用になっている社員が増加(メーカー)

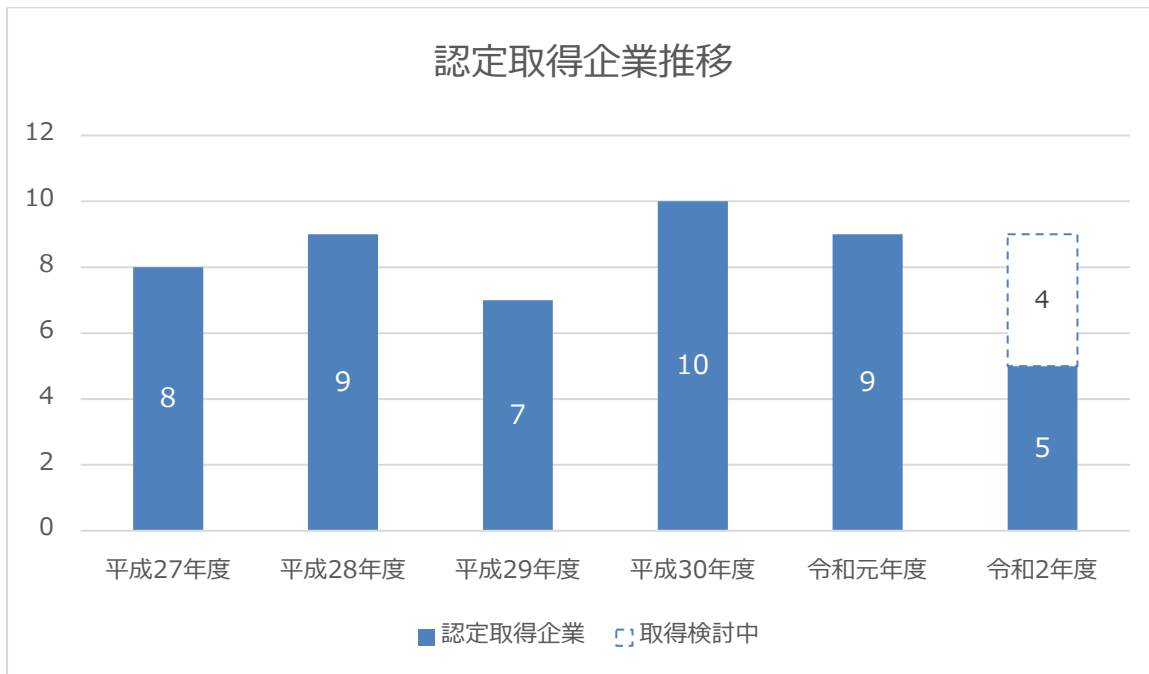


12. 厚生労働省による認定および活動 令和2年度 実績

- ・くるみんマーク、プラチナくるみん認定 ※1 取得 5社



▲くるみんマーク、プラチナくるみんマーク ※1



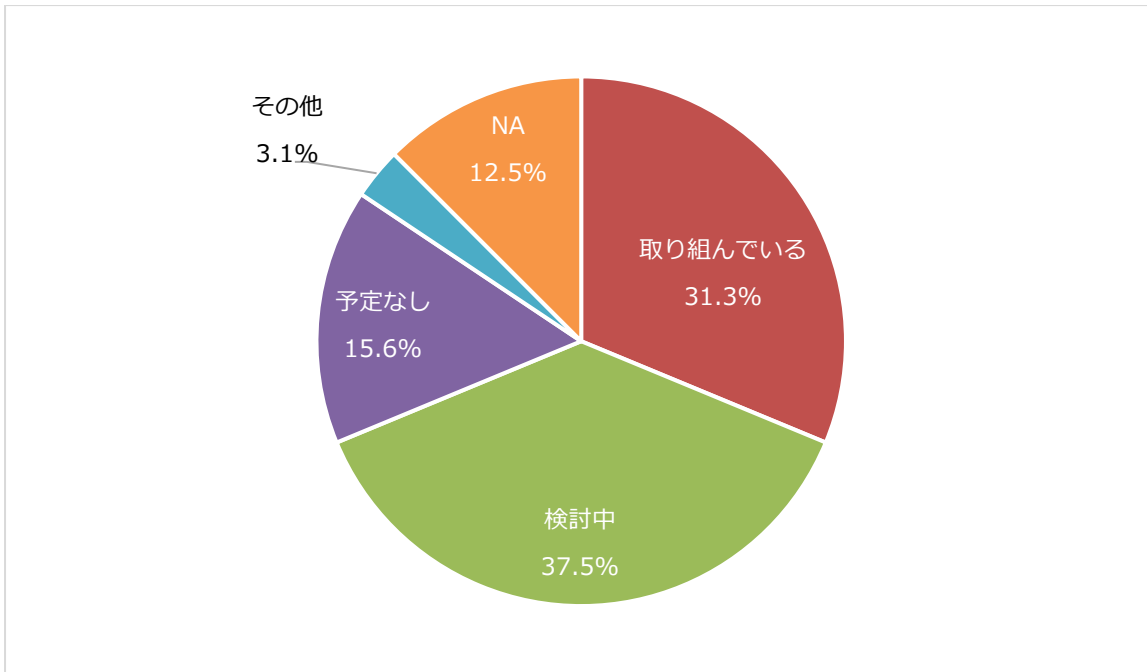
※1 くるみんマーク、プラチナくるみん認定取得…厚生労働大臣により「子育てサポート企業」として認定された企業がその証として「くるみんマーク」、「プラチナくるみん」マークを使用することができます。学生や求職者がチェックする企業研究の指標の一つ

- ・厚生労働省 くるみんマーク・プラチナくるみんマークとは

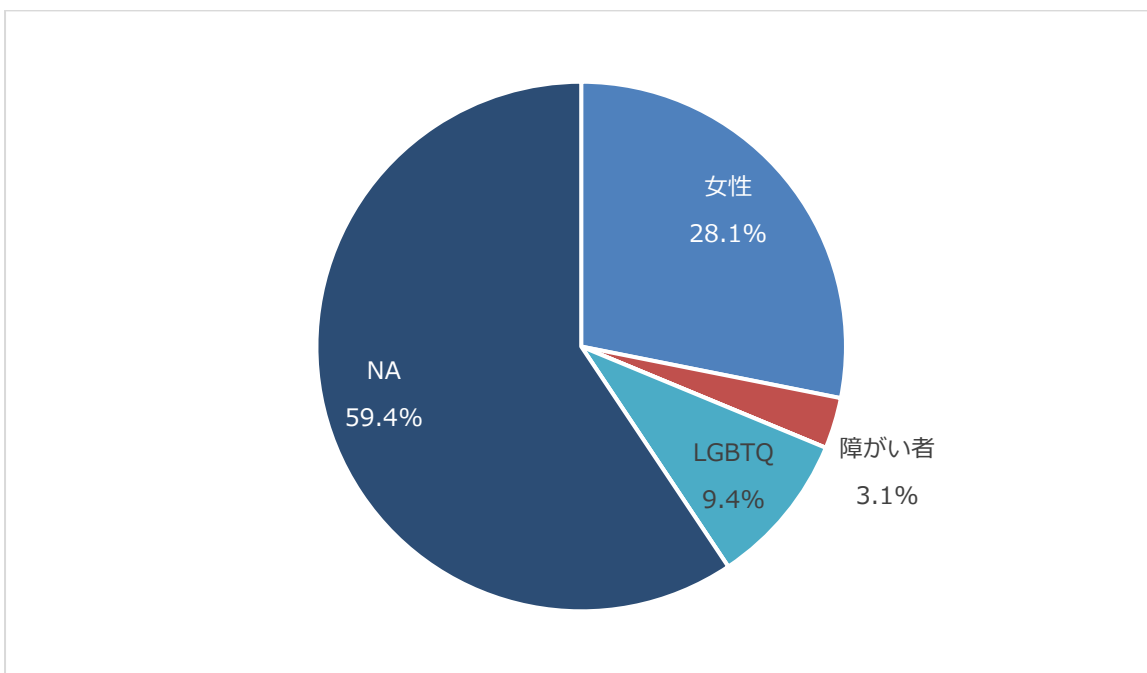
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/kurumin/



13. ダイバーシティの取り組み状況 n=32



14. ダイバーシティへの取り組みのうち、特に力を入れている分野 n=32





15. ダイバーシティ施策推進のために行っている最近(直近3年程度)の事例

■社内制度などの整備、企業としての取り組み

- ・パート従業員から正規社員への雇用 (関連企業)
- ・カウンターリーダーという女性に特化した役割を設け、カウンターリーダー手当を新設 (ホール経営企業)
- ・コロナ禍で今は中止しているが、カウンターリーダー同士の意見交換の場を設定 (ホール経営企業)
- ・従来の職位にスモールステップを設けて、女性役職者を積極的に登用 (ホール経営企業)
- ・LGBTの新卒採用(ホール経営企業)
- ・障がい者雇用の特例子会社運営(ホール経営企業)
- ・身だしなみマニュアル・制服を、男性女性共通の内容に変更 (西の丸)
- ・女性の広報担当メンバーを選抜し、日遊協の広報活動に参加 (日拓ホーム)
- ・女性の役職者登用出産、育児休暇後のケア (メーカー)
- ・育休時のeラーニング制度(メーカー)
- ・東京レインボープライドへの協賛(メーカー)
- ・LGBTに関する社外相談窓口の設置(メーカー)

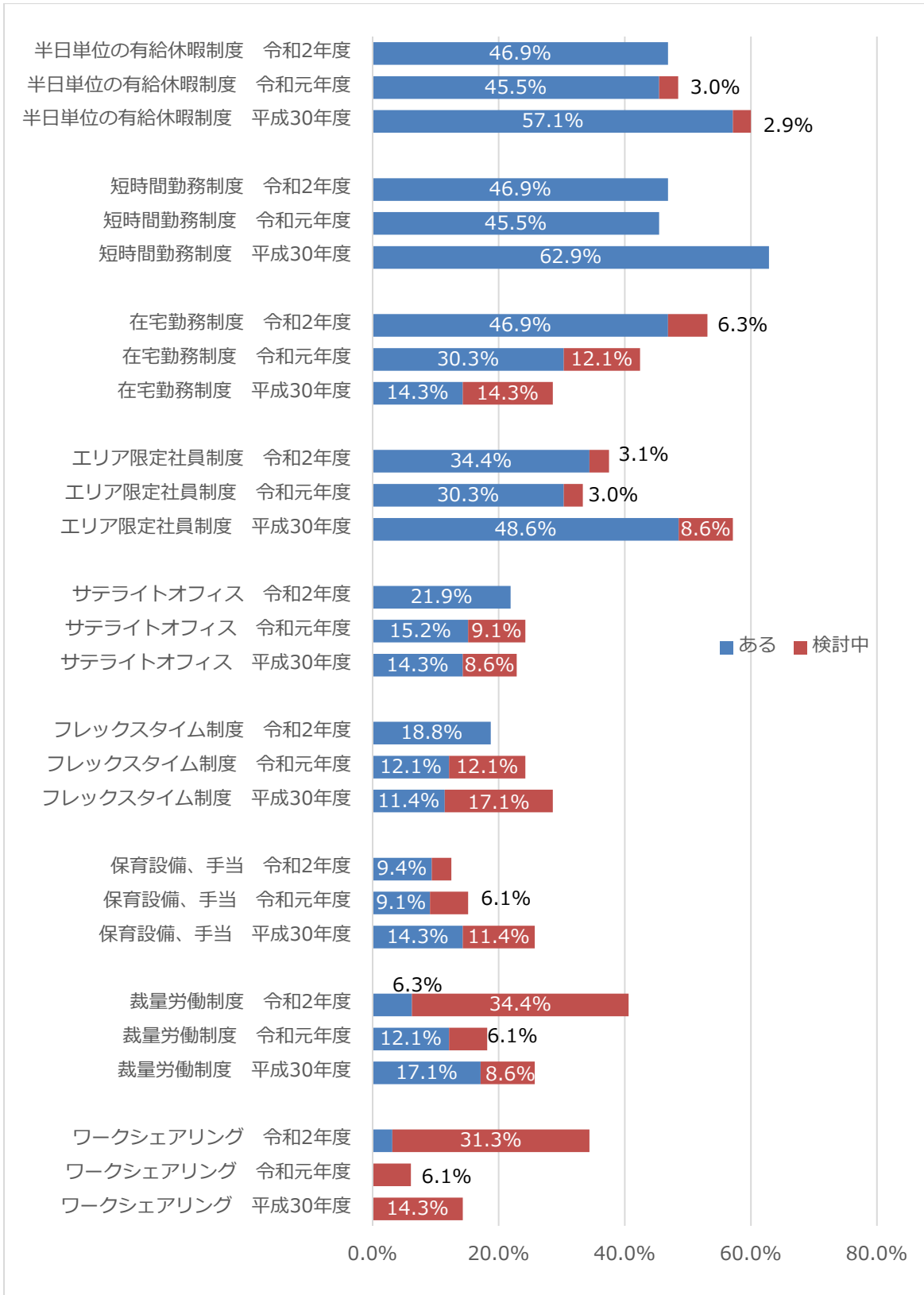
■プロジェクト設置、運用

- ・ダイバーシティ推進プロジェクト(オータ)
- ・女性活躍に関するプロジェクトチームの立ち上げ(メーカー)
- ・女性管理職30%女性活躍推進委員会設置 (メッセ)



16. 勤務形態の多様性への対応として採用している制度

※令和元年度、平成30年度の値は、過去の調査結果を参考値として使用

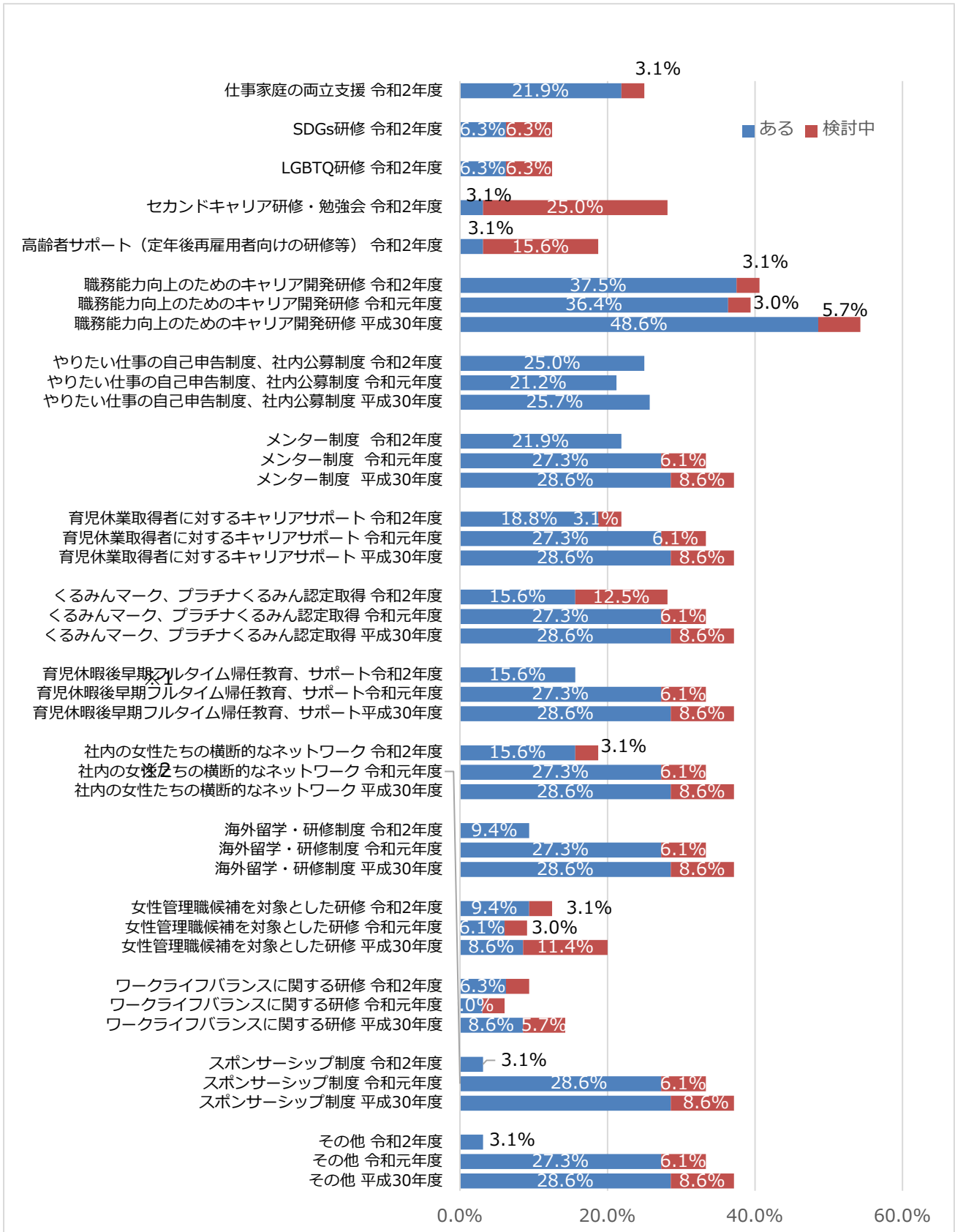




▼教育やサポート体制

17. 教育やサポート体制を整えるため現在採用している制度

※令和元年度、平成30年度の値は、過去の調査結果を参考値として使用





※1 スポンサーシップ制度…女性の管理職や経営幹部を増やすために、役員クラスが選ばれた女性社員のスポンサーに就き、マンツーマンで指導して昇進を後押しする制度のこと

※2 メンター制度…豊富な知識と職業経験を有した社内の先輩社員（メンター）が、後輩社員（メンティ）に対して行う個別支援活動です。キャリア形成上の課題解決を援助して個人の成長を支えるとともに、職場内での悩みや問題解決をサポートする役割を果たします。

厚生労働省「メンター制度導入・ロールモデル普及マニュアル」より引用

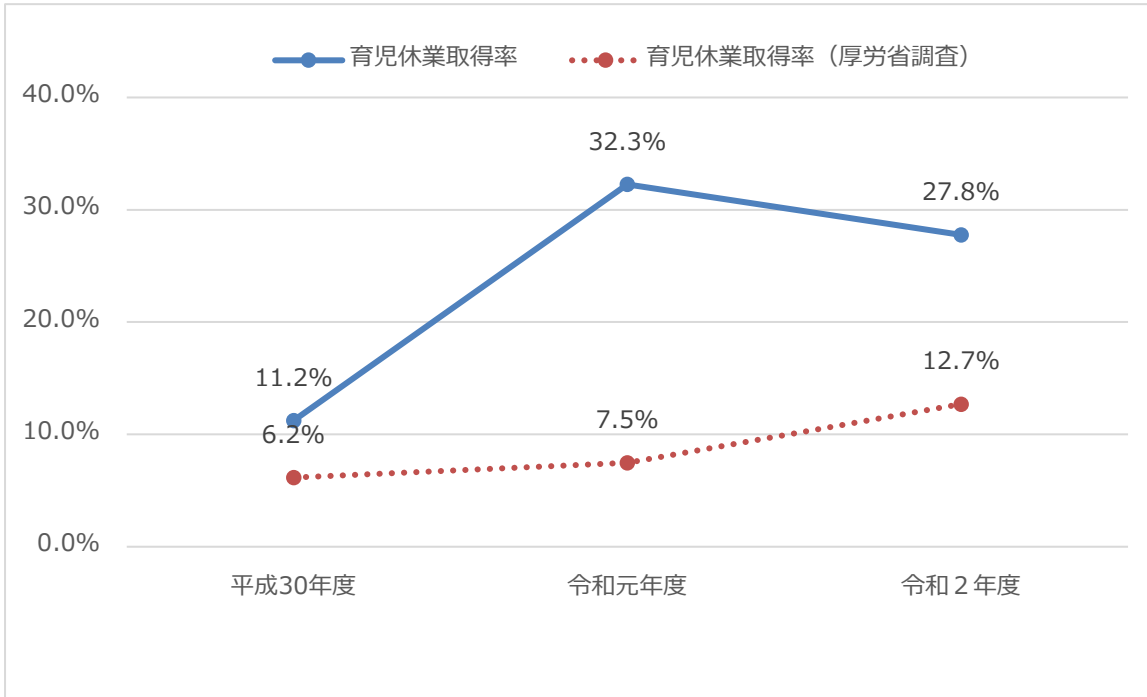
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000106269.pdf>



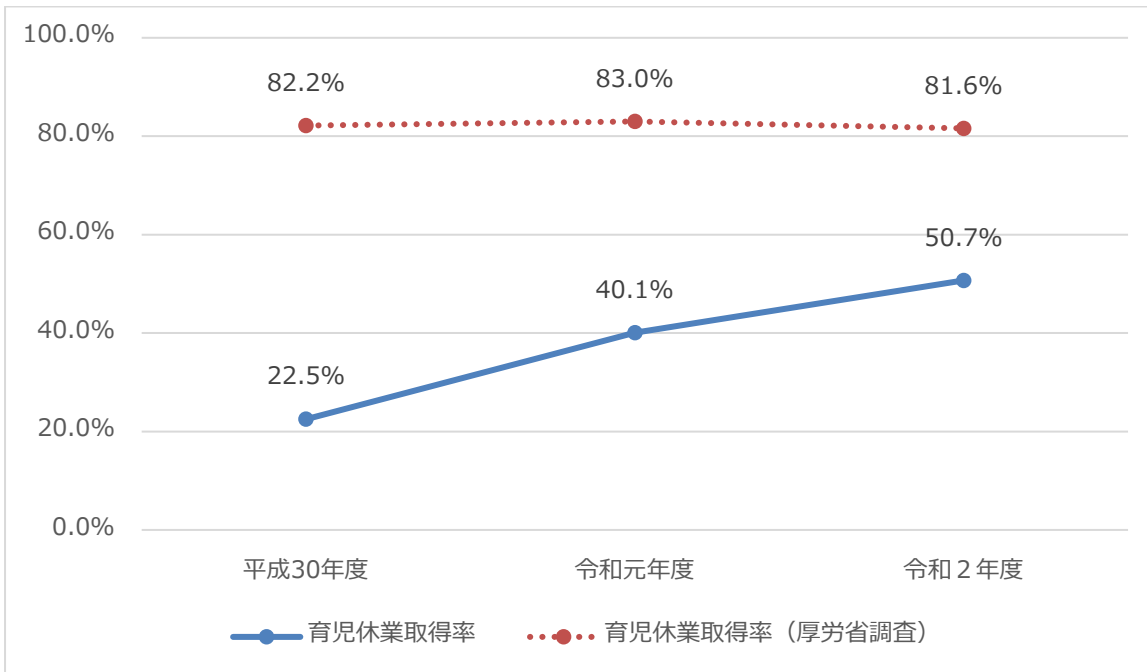
18. 産休、育児休暇の取得率と復職率推移

育児休業取得率 ※2

・男性

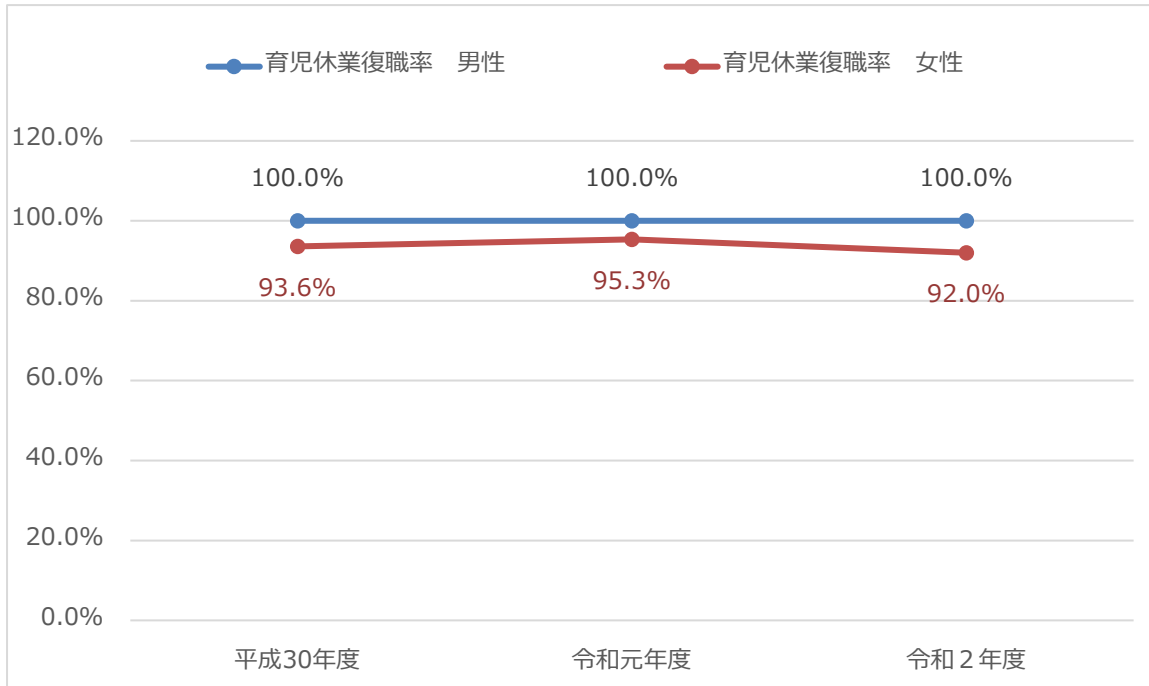


・女性





19. 育児休業復職率 ※3



※1 産休取得者数…当該年度中に申請・取得した方

※2 育児休業取得率 = $\frac{\text{出産者(注1)のうち、当該年度に育児休業を開始した者(開始予定の申出をしている者を含む。)}の数}{\text{当該年度1年間の出産者(男性の場合は配偶者が出産した者)の数(注1)}}$

注1) 当該年度1年間の出産者の数・・・①+②

①男性社員の場合は、子女(家族)手当等の支給を開始した社員の数もしくは子供を扶養に入れた社員 ②女性社員の場合は、産休取得者数

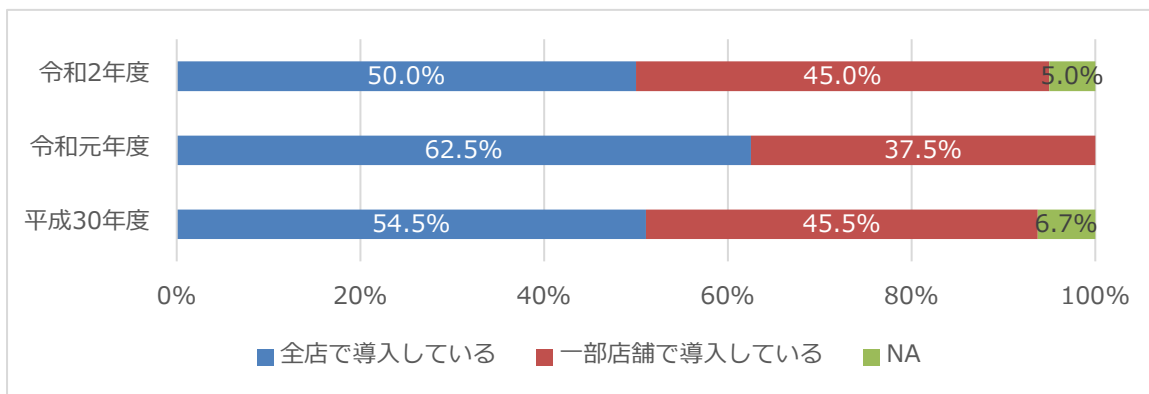
※3 育児休業復職率…当該年度内に育児休業を終了し、復職予定であった社員のうち、実際に復職した者の割合

※2、※3の定義と計算式は、厚生労働省「令和2年度雇用均等基本調査」の結果概要より引用

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r02/07.pdf>

20. ホールでの各台計数機の導入状況 (ホール経営企業のみ回答)

※令和元年度、平成30年度の値は、昨年調査結果を参考値として使用



以上

ご協力いただきありがとうございました。

■お問い合わせ/ 〒104-0033 東京都中央区新川 2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル 2階

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334 メール sato@nichiyukyo.or.jp 担当：佐藤